

SSKS

あけぼの つうしん

6月号

1995年
2023年

8月10日
6月6日

第3種郵便認可(毎週1回 水曜日 発行)
SSKS 増刊通巻 第8764号

発行所 東京都世田谷区祖師谷3-1-17
障害者団体定期刊行物協会 定価50円



大切な署名を国会へもって行きました。

社会福祉法人あけぼの福祉会 <http://akebono-fukushi.com>



- 府中共同作業所（法人本部） 〒183-0056 東京都府中市寿町3-3-6
☎042-367-0640 E-mail: kyoudous@akebono.fuchu.tokyo.jp
- ワークセンターこむたん 〒183-0056 東京都府中市寿町3-3-6
☎042-306-8639 E-mail: komutan@akebono.fuchu.tokyo.jp
- 府中生活実習所 〒183-0005 東京都府中市若松町5-2
(短期入所事業併設) ☎042-363-5251 E-mail: f-seijitu@akebono.fuchu.tokyo.jp
- 地域生活支援センターあけぼの 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1F
☎042-358-1085 E-mail: siencenter@akebono.fuchu.tokyo.jp
- ホームヘルプステーションきぼう 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1F
☎042-352-0630 E-mail: kibou@akebono.fuchu.tokyo.jp
- グループホームペンぎんはうす 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル3,4F
(グループホームあけぼのユニット) ☎042-319-8915 E-mail: pengin@akebono.fuchu.tokyo.jp
- グループホーム樹林の家 〒183-0026 東京都府中市南町6-52-10
(グループホームあけぼのユニット) ☎042-319-2268 E-mail: kin@akebono.fuchu.tokyo.jp
- あけぼのショートステイ 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル2F
☎042-319-8917 E-mail: akebonoshort@akebono.fuchu.tokyo.jp

今月の特集

第46 次きょうされん



国会請願署名・募金運動と国会請願行動

～障害者福祉制度の拡充を求めて～



はじめに



2022年12月から2023年4月にかけて、きょうされん第46次国会請願・募金運動にとりくんでしました。

多くのみなさまのご協力のもと、半年にわたる運動を無事に終了することができました。これまでの経過をご報告いたします。



あけぼの福祉会のとりのくみ



46次国会請願・募金運動では3年ぶりに「がんばるデイ中央企画」が開催されました。例年開催していた場所である新宿駅前の再開発工事に伴い、厚労省前に場所を移し開催され、あけぼの福祉会からは職員4人とワークセンターこむたん利用者2人が参加することができました。

「がんばるデイ中央企画」への参加を皮切りに、事業所ごとに署名学習会を行い、第46次国会請願の請願項目は

- 優生保護法問題
- 事業所への報酬の日額払い
- 物価高騰による経営の困難さや障害の

ある人が65歳をむかえた時点から必要な障害福祉サービスを受けられなくなる実態

●障害のある人が地域の中で安心して生活できるグループホームの制度の在り方など日々の生活に密接な請願項目であることを確認しました。

新型コロナウイルス感染症が終息とは言えない状況のため、都内の多摩川ブロック企画の「がんばるデイ」の参加や駅頭署名など地域に出向いての署名活動はできませんでした。しかし、利用者・職員はそれぞれ、家族・知人・友人に声をかけ、協力団体などに協力をお願いするなど、心を一つにして署名への協力を呼びかけてきました。



「がんばるデイ中央企画」の様子

🍀 国会請願行動のとりくみ 🍀

コロナ禍に伴い、過去3年間は直接国会の議員会館に伺って、紹介議員の依頼をすることができませんでした。

今年は5月25日に国会請願行動が行われ、全国から400人近くの「きょうされん」の関係者が国会議員会館へと集まりました。あけぼの福祉会からは代表として職員3人・ワークセンターこむたんの利用者の永井さんと佐藤さんが参加しました。



永井さん(左)
佐藤さん(右)

国会請願行動では、全国各地で集めた請願署名を持参し、衆参両議員の事務室を訪問して紹介議員になっていただけるようお願いをしました。あけぼの福祉会は、13人の議員事務室を訪問しましたが、その中で国会議員1人と議員秘書2人に署名を手渡しすることができました。

須藤元気議員秘書



山添拓議員



田村智子議員秘書



話を聞いていただき、署名を直接渡すことができました。



議員会館でランチと売店視察

🍀 とりくみを終えて 🍀

あけぼの福祉会では署名2,259筆・募金175,824円が集まりました。

全国で集まった署名は638,470筆、募金は20,033,415円でした。署名・募金活動に際し、ご理解とご協力をいただきましたみなさまに心よりお礼を申し上げます。

最後に利用者のコメントを紹介します。

「山添さんに温かく迎えてもらえて、握手もできて親切にしてもらい、署名をわたせてうれしかった。署名を届けられてよかった」 永井さん(ワークセンターこむたん)

「とても緊張した一日でした。議員の部屋を回るのはなかなかできない経験で楽しかった。握手や名刺交換をできて良かった。署名を集めて届ける流れが少しわかった」 佐藤さん(ワークセンターこむたん)



～食事に思いをこめて～

す。他にはとろみをつけるなどして、食べ物が口の中でばらけにくく、飲み込みやすいような工夫もしています。

利用者の中には、そのままの形態で食べられない方もいるので、嚥下の状態に応じた食事加工をして、安全面にも配慮をしています。



～加工の一部を紹介～

ペーストの加工は、ミルサーを使い白湯、とろみ剤と混ぜながら、なめらかなペースト状にしていきます。味見をして「粒が残っていないか?」「味はおいしいか?」確認しながら、仕上げていきます。お味噌汁などの汁物は、汁気があるので白湯は使用せず、とろみ剤を使用して、個々にあった粘度に調整しています。

↓副菜(ペースト)の加工例



加水しないとなめらかなペーストにはなりません。加水しすぎると味が薄くなるので、おいしく・なめらかなペーストを作る技が必要です

●加工に欠かせない道具



ミルサー(ペースト用)

チョッパー(きざみ用)
キッチンバサミ



～工夫と努力は惜しまず～

その日の利用者の組み合わせによっては普通食・刻み(+とろみ)・ペーストなど、複数の加工が必要な日もあり、スピーディーな調理が求められることもあります。限られた時間で調理ができるように段取りの工夫も求められます。

筆者は調理慣れするまでは、基本である食材の切り方を調べたり、一口大とはどのくらいの大きさが良いのか、試行錯誤してきました。根菜を柔らかく調理する方法、ミキサーにかけた時に感じる野菜特有の青臭さの消し方などさまざまな悩みを職員同士で共有し工夫しています。

普段とは異なる場所で一晩を過ごすことに緊張や不安を感じる利用者もいます。それでも「食べる」ことで楽しみや安らぎを感じ、1日の疲れを癒し、明日の英気を養うことにつながればと思っています。そんな思いを込めて一人ひとりのために食事を手作りして毎日お迎えしています。今後も、その人にとってより良い食事、より良い時間を提供できるよう研鑽を続けていきます。



「今日のごはんもよろしくネ」



第48回

みんなで楽しむ軽スポーツ大会開催



📌 4年ぶりの軽スポーツ大会

去る5月20日、4年ぶりに府中市民陸上競技場にて「第48回みんなで楽しむ軽スポーツ大会」が行われました。昨年も半日の予定で開催されるはずでしたが、残念ながら雨で中止でした。今年も前日の天気は雨。当日の朝も小雨が降っていたこともあり、「もしかしたら今年も雨で中止になるかもしれない」と開催の連絡がくるまで不安でしたが、無事開催されることにワークセンターこむたん一同(以下:こむたん)「よし!久しぶりの軽スポーツ大会!みんなで楽しむぞ～」と気合をいれて参加しました。

軽スポーツ大会は府中市内にある障害者施設や団体が一同に集まる、年に一度の運動会です。障害のある人もない人も、障害の種別を超えてみなで身体を動かすことを楽しむ行事です。



～ワークセンターこむたん～



新型コロナウイルス流行以前までは、軽スポーツ大会といえば、こむたんの利用者にとっては、旅行と同じぐらい楽しみにしている一大行事でした。以前は当たり前だったことが当たり前にはできない日々。この4年間は、人と会って、おしゃべりを楽しんだり、交流をしたりする機会がほとんどありませんでした。そのため、今回軽スポーツ大会が開催されると聞いた利用者の喜びはひとしおでした。利用者の中には、久しぶりに他の施設にいる友達と再会でき、「今日久しぶりに友達と話をすることができたよ!」と満面の笑顔で報告してくれる利用者もいました。まだまだ、感染対策はしっかり行っていかなければいけません、当たり前仲間には会える、いろいろな人と一緒に活動できる喜びを改めて感じる場面でした。



さて、こむたんにとっても久しぶりの軽スポーツ大会ということで、会場のセッティングから大苦戦でした。4年前を思い出しながら、限りあるスペースで、利用者が過ごしやすい環境をと職員みなで協力しあいながら会場をセッティングしていきました。時間までになんとか会場を準備することができ、無事利用者を迎え入れることができました。



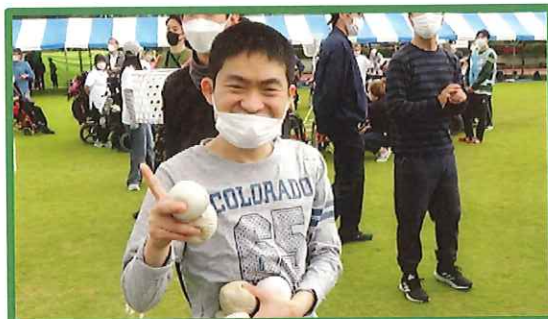
いよいよ軽スポーツ大会がスタート

今回の軽スポーツ大会では、5つの種目が行われました。午前中、大玉転がし、玉入れ、車椅子競争。午後は、みんなが楽しみにしていたパン食い競争、景品釣り競争。新型コロナウイルス流行以前、毎年行われていた「混合リレー」がなくなり残念ではありましたが、職員や利用者同士で「どの競技に出る?」「わたしは全部出るよ!」等、競技参加についての話で盛り上がっていました。



【大玉転がし。早く! 早く! とみんな必死】

久しぶりの軽スポーツ大会ということもあってか、やる気満々の利用者が多く、すべての競技に参加している人が多かったです。



【競技全部制覇! 玉入れ楽しかったよ!】

実は今回の軽スポーツ大会が初めて、という利用者も多くいました。新型コロナウイルス流行以降に入所してきた利用者にとっては初めての屋外行事であり、初めての軽スポーツ大会でした。初めは少し緊張した様子も見られましたが、時間が経過するにつれ、笑顔も増えていました。



【軽スポーツ大会デビュー!】

1 日屋外での行事ということもあり、軽スポーツ大会終了後は利用者も職員も疲れている様子が見られましたが、それ以上に、「やっぱりみんなできるとりくめるってたのいい!」ということを改めて感じる日となりました。こむたんでは、今後も感染対策を継続しながら、「人との交流」を大事にしていきたいと考えています。

あけぼの福祉社会後援会

後援会総会のご報告



1995年
2023年

8月10日
6月6日
発行 第3種郵便認可(毎週1回 水曜日 発行)
SSKS 増刊通巻 第8764号

日頃より、あけぼの福祉社会後援会を支えてくださっている皆様に、心より感謝申し上げます。
さて、この間新型コロナウイルス感染症の影響により、総会を中止させていただいておりました。今年度は5月に5類へ移行されましたが、まだ終息した訳ではないため多くの方にお集まりいただくのは控えたいと考え、総会を中止とさせていただきました。中止にさせていただいた報告が、この時期になったしまったこと心よりお詫び申し上げます。

尚、議案書につきましては、役員会メンバーにて確認をさせていただきましたことも併せてご報告させていただきます。本来であれば皆様のご承認をいただくところではありますが、このような対応になりましたことにつきまして、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

簡単ではありますが、以下にて事業報告させていただきます。

〈2022年度 会員拡大〉

一般会員:345人 特別会員:71人 合計金額:2,688,000円

その他、販売・自販機事業や資源回収などでの収益を併せて、530万円を法人に寄付させていただきました。ありがとうございました。

今年度も例年以上に後援会活動にご協力賜りたいと存じます。今後ともあけぼの福祉社会後援会をよろしくお願い申し上げます。

【編集後記】

今月号のあけぼのつうしんで取り上げていますが、府中市軽スポーツ大会が府中市陸上競技場で行われ、私も利用者と一緒に4年ぶりに参加しました。参加して、あらためて48回もの歴史があることを再認識しました。そこで、歴史ある大会が昔はどのようなものであったかをあけぼのつうしんで振り返ってみました。

1983年(40年前)府中共同作業所つうしん第2号において「五月晴のもと、5月8日、市営グラウンドに於いて…我作業所からも、仲間達とその家族、職員あわせて12名が参加し、軽い汗を流しました。今年で第8回を数えるこの大会も、本年より市民ぐるみで行いたいとの意向から、地域の子供会やボーイスカウト等呼びかけたり、焼きそば、おでん、綿あめ等の模擬店が出て楽しみました。…昼食では各家庭でもってきた物をテント下でひろげ美味をあじわいながら、吹奏楽ややぐら太鼓の演奏・演技にしばし口をとめ、拍手を送っていました」和やかな雰囲気と、市民の皆様と一緒に大会を作り上げていこうという意欲が文面から伝わってきます。その後、長い歴史の中で参加団体も増え、今回も多くの参加者で大会が盛り上がりしました。

40年前のあけぼのつうしんの記事に触れ、あけぼの福祉社会が市民のみなさまの多大なご理解、ご協力により今日まで発展してきたことと同様に、軽スポーツ大会も、市民のみなさまに支えられて長い歴史を刻んでいるのだ、ということあらためて感じました。

(府中共同作業所 富田 俊)